

2017 焦点・論点

生活困窮者支援の現場から

NPO法人「ほっとプラス」代表理事 藤田孝典さん

「死ぬ間際まで働かざるを得ない」

持続しない社会は変えよう

しんぶん赤旗 2017 年 1 月 14 日(土)

広がる貧困と格差の克服は待ったなしの課題です。生活困窮者から年 500 件以上の相談を受ける現場から、この問題を告発してきたNPO法人「ほっとプラス」代表理事の藤田孝典さんに聞きました。(内藤真己子)

### 高齢者の就業最多

—流行語にもなった新書『下流老人』の続編が昨年末、出版され話題になっています。「働かざるを得ない高齢者が増えている」と指摘されていますね。

ぼくらが15年間、相談を受けてきて劇的に変化したことがその問題です。65歳以上の高齢者の就業者数は過去最多を更新中ですが、働く理由が変わってきています。かつては将来に備えるとか、余暇のためだったのが、最近では「働かないと生活できない」という人の増加が顕著です。

多いのは65歳以上で清掃やビル管理、介護・保育などの職場で働いていたが腰が痛くなったり、重い病気が見つかったりして働けなくなり、生活費に困っている相談です。

夫婦で店を営んでいた豆腐屋の男性(78)は、妻が脳梗塞で倒れ、70歳すぎで店をたたきました。国民年金は夫婦で月8万円。貯金が800万円ありましたが5年で底をつき、夫は75歳すぎから早朝の新聞配達をはじめました。妻の介護をしながら、年金と月8万~10万円のバイト代でしのいでいたのですが、胃がんが見つかり働けなくなりました。生活保護につなげて治療に専念してもらいました。

有名大学の出身で大手物流会社の課長だった男性(66)は、58歳でリストラされました。「多少年収が落ちてもいい」と再就職先を探しますが、正社員にはなれません。子どもの学費や住宅ローンを抱えており「早期引退」はできない。引っ越しのアルバイトや病院の清掃員、介護ヘルパーなどを転々としたあげく、なれない力仕事で腰を痛めてしまい



(写真) ふじた・たかのり 1982 年生まれ。聖学院大学人間福祉学部客員准教授。反貧困ネットワーク埼玉代表。近著に『続・下流老人 一億総疲弊社会の到来』(朝日新聞出版)。

撮影・山城屋龍一

ました。結局、時給900円のコンビニのアルバイトに落ち着きました。

高齢者は最低賃金の少し上くらいの時給で働いている人が多い。最賃の引き上げは非正規雇用の若者だけでなく、高齢者の課題にもなっています。

### 働く理由に違いが

—日本は働いている高齢者が多いと。

高齢者の就業率は、OECDの「高齢者の就業率の国際比較」によれば、ドイツで5・4%、アメリカで17・7%です。これにたいして日本は20・1%で明らかに「働きすぎ」です。しかも就労の継続を希望する最大の理由は、「収入がほしいから」（49%、内閣府調査）です。ドイツやスウェーデンでは、半数前後が「仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから」を理由にあげているのと対照的です。

政府は「1億総活躍社会」で高齢者雇用を推進していますが、ぼくは、すでに「高齢者が死ぬ間際まで働かざるを得ない社会」になりつつあると感じています。日本老年学会が高齢者の定義を75歳以上にすると提言しましたが、低所得に苦しむ高齢者は年齢以上に健康格差があることが指摘されています。必要な社会保障を削減して、さらに老後不安が起きることのないようにしてほしいですね。

### 低年金と赤字拡大

—なぜこんな状況が広がったのでしょうか。

高齢者の貧困が深刻になる要因として、(1)収入が少ない(2)十分な貯金がない(3)頼れる人がいない—の三つがあると思います。高齢者が健康を害してまで働かざるを得ないのも背景は同じです。

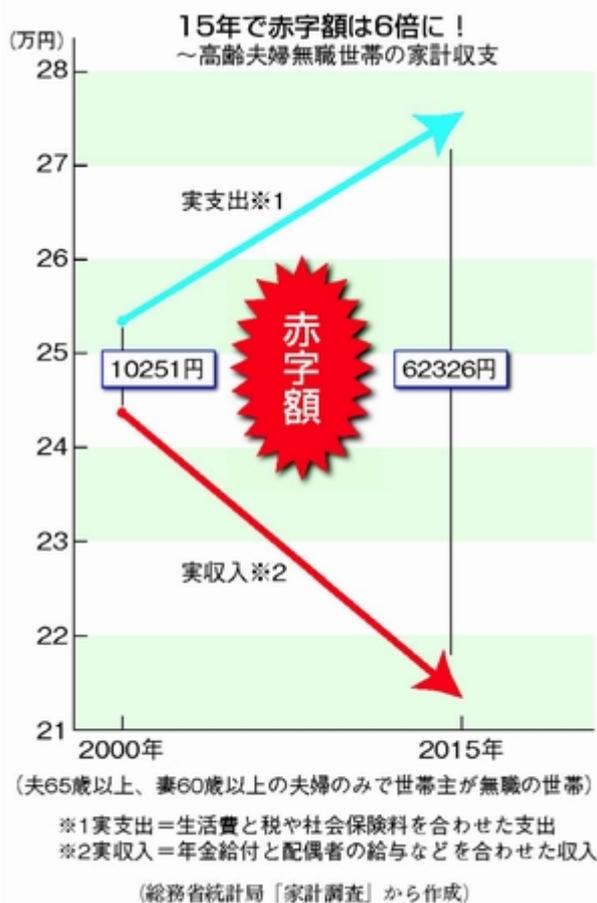
一つは年金制度の問題です。老齢年金受給額で最も人数が多いのは「月6万～7万円」で約460万人です（2013年度末）。年金が月10万円未満しかない人が約6～7割を占めています。

一方、単身高齢者（65歳以上）の1カ月の平均支出額は約14万円（総務省「家計調査」2014年4月～6月期平均速報）です。多くの高齢者が、1人暮らしであれば毎月4万～7万円の不足分＝「赤字」を貯蓄の切り崩しか、就労で確保しなければならない状況になっています。

—その「赤字」が増えていると言います。

そうです。高齢夫婦世帯（世帯主無職）でみても、「家計調査」で2000年以降の「消費支出」は月約23万円から同24万円へと上がっています。

一方、公的年金は削減され、2000年の同23万円から15年には同19万円へと大幅に減っています。



そのうえ介護保険料が3年ごとに引き上げられるなど社会保険料や税など「非消費支出」は増えています。

だから家計の赤字はどんどん拡大し、15年には同6万2300円にも増えています(図)。仮に1000万円の預金があっても13年程度で、貧困に陥る可能性があります。

さらに医療や介護の費用は重篤になるほどコスト増となり家計を圧迫します。ところが安倍内閣はいっそう自己負担を引き上げる方針です。年金はマクロ経済スライドの強化で減額され、「赤字」は拡大するばかりです。

また、「高齢者は貯蓄を持っている」とも言われますが、実際は単身世帯も含めた高齢者世帯は43・5%が500万円未満で、うち16・8%が「貯蓄なし」の状態です。(厚生労働省「2013年国民生活基礎調査の概況」)

若い世代の貧困も深刻で、将来、すごい数の貧困な高齢者が増える懸念があります。大学を出ても正社員になれず非正規雇用が拡大しています。非正規では国民年金保険料を払えない人も多い。正社員も賃金が下がっていますから、厚生年金に加入していても、低年金は確実です。

## 分断越えて組織を

### —貧困の克服のために何が必要ですか。

最近、ぼくは地方の経済団体などの講演会に呼ばれることが多いのですが、「将来の不安のために消費者の財布のひもが固い」「これ以上、社会保障を減らして個人消費を奪うのはどうか」という意見をよく聞きます。なかには「社会保障をよくするためには、ある程度、法人税を上げてもいいんじゃないか」というリベラルな意見が企業側からも出てきているほどです。多くの人が「このままでは社会が持続しない」と気づいてきた。社会が変わる兆しが出てきているのです。

社会保障を抜本的に充実するとともに雇用の脆弱(ぜいじゃく)性を修復することが急務です。そのためには市民が分断を乗り越え、「組織」をつくって手を取り合っていく必要があります。

自衛隊を海外に派兵する安保法制では、これまでにない共闘が広がりました。生活や社会保障の課題でもそういう方向に持っていきたい。ぼくは「資本論」を書いたマルクスのように、「社会は変えられる」と信じています。

## 超富豪8人・下位36億人 富は同じ

### 国際援助団体報告 世界の貧富の格差さらに拡大

しんぶん赤旗 2017年1月17日(火)

国際援助団体オックスファムは16日、世界の超富豪8人の持つ富が、世界人口の半分、より貧しい36億人が持つ富と等しくなっていると報告書を公表し、不平等の克服のための行動を呼びかけました。

同報告書『99%のための経済』は、スイスのダボスで世界的大企業などのトップが集まる世界経済フォーラムに先立って発表されました。

報告書では貧富の格差の拡大で、英国の欧州連合(EU)離脱や米大統領選でのトランプ氏の当選など「富裕国の国民の多くが現状維持に我慢できなくなる兆候が強まっている」と指摘しています。

また貧富の格差には、多国籍企業の責任が大きいと告発。その手口として、経営陣に最大の報酬を支払うために、労働者や取引企業を搾取・収奪するほか、タックスヘイブン(租税回避地)などによる税逃れ、政策の買収などを挙げています。

税逃れで貧しい諸国は毎年1000億ドル（約11兆4000億円）以上の税収を奪われています。これは1億2400万人の学校に行っていない子どもに教育を受けさせ、600万人の子どもの死亡を保健衛生で予防する額に相当します。

オックスファムのマックス・ローソン政策部長は「大多数の人々にとって恩恵が及ぶようなもっと違った資本主義の運営方法がある」とロイター通信に強調しました。

世界の貧困層半分の富に等しい資産を持つ8人の超富豪	
ビル・ゲイツ	マイクロソフト社創業者
アマンシオ・オルテガ	スペインの服飾企業インディテックス社（ZARAなど保有）創業者
ウォーレン・バフェット	投資家
カルロス・スリム	メキシコの実業家
ジェフ・ベゾス	アマゾン社CEO
マーク・ザッカーバーグ	フェイスブック社CEO
ラリー・エリソン	米ソフトウェア企業オラクル社共同創業者
マイケル・ブルームバーグ	米通信会社ブルームバーグCEO （元ニューヨーク市長）

（クレディスイス銀行や『フォーブス』誌のデータに基づきオックスファムが計算）

## 日本共産党第27回大会 来賓あいさつ

しんぶん赤旗 2017年1月17日(火)

15日から始まった日本共産党第27回大会2日目の16日、8氏が来賓あいさつをしました。要旨を紹介します。

### 市民・生活者視点 国政に

#### 熱海市長 齊藤栄さん

1000人を超えるみなさま、ようこそ熱海へお越しいただきました。心から歓迎申し上げます。6年前、現職の熱海市長が初めてあいさつにきたということで、大変温かく歓迎されたことを今でも覚えております。

いま3期目の折り返し地点を超えたところですが、10年前は市の財政が厳しく、熱海市財政危機宣言をしました。赤字、不良債務の比率は、全国で6番目に大きかったです。財政再建に力を入れ、10年かかって、ようやく来年度は赤字がゼロになる見込みです。東日本大震災で落ち込んだ観光客も上向きになってきたところです。

いま力を入れているのが「住まうまち熱海づくり」です。市民の生活が豊かにならなければ、人口減少に歯止めがかかりません。教育、福祉、子育てに力を入れています。

常々感じることがあります。国には国がやるべきことがあるということです。

2期目に中学3年生までの医療費の無料化を実現しました。しかしこれは、本来、国の仕事だろうと。現場の首長の本当の生の声であります。

日本共産党のみなさんには、市民、生活者の視点で、国政でしっかりとその役割を担っていただきたいと、切に願っております。

## 存在感がぐっと大きく

### 平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）代表世話

#### 人 牧野富夫さん

実は昨日、党大会の様子をネットで見えていました。3野党1会派のあいさつは想像できなかったことで、立派で涙がこぼれそうになりました。

この間共産党に対する信頼、存在感がぐっと大きくなりました。私の周りの人も共産党があつてよかったとしみじみ言います。そうなったのは、直接的には市民の要望を受けて共闘を進めてきたことです。

国会討論やテレビ討論などで共産党の代表が国民の要求を踏まえて、理路整然と政策を主張する。そして安倍政権にはするどく批判する。その姿は「二刀流」の大谷選手に似ていて、よくやってくれたと痛快です。

共産党ファンを増やしているだけでなく、日本の政治を面白くしています。そういうこともあり共産党が存在感を高めていると思います。

今度の総選挙で野党連合政権をつくって戦争法をなくし、立憲主義を立て直しましょう。前回は私は革新懇を代表してあいさつしました。「おめでとうございます」と言って、本当は何がめでたいのかと思いましたが、今度は本当におめでたい。互いに一緒に頑張りましょう。

## 「新しい友人」として共に

### 総がかり行動実行委員会共同代表 福山真劫さん

ごあいさつさせていただくことに少し躊躇（ちゅうちょ）がありました。さまざまなことが胸によみがえり、緊張しています。しかし私も左翼です。志位委員長に新しい友人と紹介いただきました。連帯をこめて頑張ります。

私は、みなさま方と一緒に「大きな未来」をつくるためにここに来ました。私たちには共通の目標があります。安倍自公政権と対決し、打倒することです。

私たちの武器は、大衆運動を大きく高揚させ、安倍自公政権を包囲すること、選挙闘争で勝利する、この二つだと思います。

大衆運動では過去の経緯をこえて運動を統一したことにより、運動自身を画期的に変化させ、安倍政権を揺さぶりましたが、退陣には追い込めていません。2017年は、見えてきた課題を克服しなければなりません。

選挙では、野党共闘でたたかうしかありません。安倍自公政権の最重点の延命戦略は、野党共闘つぶしです。

野党が政策協定、候補者調整、選挙協力体制で本気であることを明確にすることが必要です。もう一度お願いします、本気の野党共闘をつくりあげてください。めざす方向はみなさまと一致していると思います。共に頑張りましょう。

## 真の「働き方改革」めざす

### 全労連議長 小田川義和さん

東北大学の非常勤職員雇い止め問題で、田村智子参院議員の追及があったように、議会での日本共産党議員の奮闘と労働組合の運動とが響き合うことは少なくありません。

今年の年初から成長戦略の一環との位置づけで、「働き方改革」の断行が叫ばれています。パート、有期、派遣などへの雇用の置き換えが進み、働く者の4割が非正規雇用労働者、電通の過労死事件などのようなブラックな働き方が当たり前の状況になっています。

残業規制を強めるといいながら労働基準法改悪に固執していることも含め、「働き方改革」の詐欺的な内容を明らかにし、労働者の深刻な実態の改善につながる真の働き方改革をめざさなければと強く決意します。

戦争法、原発依存、共謀罪など、安倍政権のごまかしの手法を駆使した暴走政治に危機感を抱く市民と団体の共闘の前進に全力をあげてきました。それを前進させたのが、総がかり行動であり、市民連合であり市民と野党の共闘です。この共闘を強く大きくしていかなければならないと思います。

要求の一致点での統一したたたかいの追求をめざすと結成時の綱領で宣言している全労連として、決意を最後に申し上げ、あいさつとします。

## アベ政治終わらせる行動

### 新日本婦人の会会長 笠井貴美代さん

歴史的な大会で、私どもも“古い友人”としてごあいさつさせていただき、本当に光栄に思っております。

新婦人は今、「女性・市民と野党の共闘でアベ政治を終わらせる」を合言葉に、憲法署名とヒバクシャ国際署名を持ち、意気高く新春行動をスタートさせています。暮らしや命に根ざした要求があり、何でもおしゃべりできる仲間がいることが元気の源です。

安倍政権の「女性の活躍」政策こそ、事実に反する「ポスト真実」です。まやかしの暴走政治をはね返す力も、要求と仲間、おしゃべりだと思っています。

私たちは1962年の創立以来、政党支持自由の会として、互いの意見を落ち着いて聞きあうことを「これからのエチケット」と銘打ち、実践しています。

女性たちは戦争法反対で平和の世論と行動をリードし、カジノや原発を強く批判し、アベ政治ノー、憲法守れと意思表示しています。

この女性の要求を野党共闘の共通政策に盛り込み、さらに豊かにと、地域から野党4党に働きかけています。

新婦人は秋、第28回全国大会を開きます。日本国憲法を守りぬき、個人の尊厳が守られるジェンダー平等社会をめざし、皆さまと力をあわせていく決意です。

## 暴走政治から農業を守る

### 農民運動全国連合会会長 白石淳一さん

日本共産党が綱領で農業を基幹的産業に位置づけ、農民連運動にお力添えくださっていることに敬意と感謝を申し上げます。

安倍政権は昨年、TPP（環太平洋連携協定）の承認案と関連法案をめぐって異常な国会運営を繰り返し、採決を強行しました。日本共産党はTPPに一貫して反対の態度を貫き、農民連や市民団体の共同の運動を激励し、秘密主義をたてに答弁を拒む政府を追い詰め、危険な本質を明らかにしてこられました。

共産党が全国で運動を励まし支え続けたことが、大きな力だったと実感しています。

アメリカではトランプ次期大統領がTPPからの脱退を言明しており、発効は見通せない状況です。「TPP推進で米国を説得する」とする安倍首相の姿勢は異様です。TPPの破たんは、安倍政権にとっての打撃の大きさを示しています。

安倍政権は戦後農政の枠組みを解体するアベノミクス農業改革に続き、農協解体を強引に進めようとしています。農協組織への不当な干渉はただちにやめるべきです。

野党連合政権の実現のために努力している日本共産党の存在は、農民にとっても希望です。大会が大きく成功されることを祈念し、あいさつとします。

## 野党連合政権 青年の希望

### 日本民主青年同盟委員長 小山農さん

昨年11月の民青同盟第40回全国大会は、自らの活動への自信に満ちあふれ、大変明

るい、勢いのある大会として成功しました。

これを力に前進が始まっています。昨年9月から毎月、前年同月の拡大数を上回り、新たな班も結成されています。民青の建設を党との「共同の事業」として成功させる決意を込めてお話しします。

一つは、野党連合政権を自分たちの政府として実現したい。野党連合政権は青年の希望です。青年の願いを掲げた運動が共闘を豊かにし、野党連合政権を実現する力になる。民青の役割を輝かせ、日本中で青年のたたかいを広げる決意です。

二つは、青年の身近に班をつくり、政治を変えたい。班会は同盟員が学び、成長し、行動に立ち上がる場です。日本中の地域や職場、学園に班をつくり、政治を変える力を大きくしたいと思います。

三つは、何としても民青を大きくしたい。青年が民青との出会いを待っています。仲間を増やし、全国津々浦々に新たな班をつくりたいと思います。

民青同盟の新たな本格的な前進を勝ち取り、安倍政権の打倒と野党連合政権の実現、そして日本の変革の事業を引き継ぎ、発展させるために全力を尽くす決意です。

## 国際署名で核兵器禁止を

### 原水爆禁止日本協議会代表理事 高草木博さん

日本共産党第27回大会にあたり、原水爆禁止日本協議会を代表して、ごあいさつを申し上げます。

今、世界でも多数の国の政府と市民社会の運動が協力して、新たな時代を開こうとしています。国連総会は昨年12月、核兵器禁止条約の交渉会議を招請することを決定しました。

核保有国、とりわけ米国は危機感をあらわにし、同盟各国に決議に反対票を投ぜよと圧力をかけました。しかし、核兵器をもてあそぶことが「安全の保証だ」という議論を信ずる国は、わずかな数の核保有国とそれに追随する国しかありません。

日本政府代表は反対票を投じ、「コンセンサスがない」と繰り返しました。コンセンサスがないのなら、それをつくることこそが、日本の政府の責任ではありませんか。

私たちは日本の運動として特別の責任を果たそうと決意しています。全国、全世界に被爆の実相を知らせ、核兵器全面禁止の訴えを伝えることです。

広島・長崎の被爆者は昨年、核兵器禁止廃絶条約を求める「ヒバクシャ国際署名運動」をよびかけました。被爆国日本の国民が動けば、世界が動きます。日本共産党のみなさんが、この人類的事業で先頭に立たれることを希望し、私のあいさつといたします。